

■ ある問題解決のために、次のような3次方程式を解くことになった。ただし、 $a > 1$ である。

$$(a^2 - 1)x^3 - (2a^2 - 1)x - a\sqrt{a^2 - 1} = 0.$$

因数定理というわけにも行きそうになく、数式処理ソフトの助けを借りることにした。

まず、私が日頃お世話になっている Derive では、逆三角関数を用いた次のような解を出力した (3つのうち1つのみを載せる)。

$$x = \frac{2}{\sqrt{3}} \sqrt{\frac{2a^2 - 1}{a^2 - 1}} \sin \left\{ \frac{1}{3} \arctan \frac{3\sqrt{3}a(a^2 - 1)}{(a^2 + 1)\sqrt{5a^2 - 4}} \right\}.$$

実際はもっと複雑な式であったが、「手動」で簡略化した。

Derive は簡単に表示できない3次方程式は、こういった逆三角関数を用いた解 (ビエタの解と呼ばれ、 \cos の3倍角の公式を用いた解である) で表示する。

■ Maxima に解かせてみる。1つの解は次のようになる。

$$x = \left(\frac{\sqrt{3}\%i - 1}{2} \right) \left(\frac{(a^2 + 1)\sqrt{\frac{5a^2 - 4}{a^2 - 1}} - a\sqrt{a^2 - 1}}{2 \cdot 3^{3/2}(a^2 - 1)} \right)^{1/3} + \frac{\left(\frac{\sqrt{3}\%i - 1}{2} \right) (2a^2 - 1)}{\left(\frac{(a^2 + 1)\sqrt{\frac{5a^2 - 4}{a^2 - 1}} - a\sqrt{a^2 - 1}}{2 \cdot 3^{3/2}(a^2 - 1)} \right)^{1/3}}$$

ここで、 $\%i$ は虚数単位であり、表示される3つの解のうち2つに $\%i$ を含んでいる。カルダノの公式による解である。

■ WolframAlpha は、次のような解を示す (3つのうちの1つ)。

$$x = -((1+i\sqrt{3})(2a^4 - 3a^2 + 1)) / \left(\frac{(2^{2/3}(a^2 - 1)(-27\sqrt{a^2 - 1}a - 27\sqrt{a^2 - 1}a^5 + 54\sqrt{a^2 - 1}a^3 + \sqrt{-135a^{12} + 243a^{10} + 162a^8 - 486a^6 + 81a^4 + 243a^2 - 108})^{1/3} - \frac{1}{6\sqrt[3]{2}(a^2 - 1)}} \right) - (1 - i\sqrt{3}) \left(\frac{-27\sqrt{a^2 - 1}a - 27\sqrt{a^2 - 1}a^5 + 54\sqrt{a^2 - 1}a^3 + \sqrt{-135a^{12} + 243a^{10} + 162a^8 - 486a^6 + 81a^4 + 243a^2 - 108}}{(1/3) \text{ and } a^2 - 1 \neq 0} \right)^{1/3}$$

■ 実は、 $a > 1$ において、この3次方程式の判別式が

$$D = \frac{(a^2 + 1)^2(5a^2 - 4)}{(a + 1)^3(a - 1)^3} > 0$$

となるから、異なる3つの実数解をもち、

すべて実数である。 i を含んだ解の表示があっても、これらはいわゆる還元不能のタイプである。

■ さて、GeoGebra である。このCAS画面で解を求めると、

$$x = \frac{-a\sqrt{a^2 - 1} + \sqrt{5a^4 - 9a^2 + 4}}{2a^2 - 2}, x = \frac{-a\sqrt{a^2 - 1} - \sqrt{5a^4 - 9a^2 + 4}}{2a^2 - 2}, x = a \frac{\sqrt{a^2 - 1}}{a^2 - 1}$$

という解を表示してくれる。

え?!?!? こんなに簡単なもの? 間違っていない?

この3次方程式の左辺は

$$(a - 1)(a + 1) \left(x - a \frac{\sqrt{a^2 - 1}}{a^2 - 1} \right) \left(x^2 + a \frac{\sqrt{a^2 - 1}}{a^2 - 1} x - 1 \right)$$

と、 x の1次式と2次式の積に因数分解可能だったのである。

それによって、上のような解を求めていたわけだ。

GeoGebra の恐るべき因数分解能力である。

■ 因数定理による因数分解を不可能と思わせる3次式であったが、実は $\sqrt{\quad}$ を含んだ値 $\frac{a}{\sqrt{a^2 - 1}}$ を代入したら OK だったということに他ならない。

■ GeoGebra が「2次曲線に強い」ことを、操作していて実感する。例えば、座標平面上に5点を取り、それらを通る2次曲線を表示させることが可能だし、その方程式までも表示する。

その意味で、GeoGebra は、もしかするのだが、2次の無理数を処理する特別な能力を備えているのかも知れない。

